

# 令和3年度福井県計画に関する 事後評価

令和5年8月  
福井県

### 3. 事業の実施状況

令和3年度福井県計画に規定した事業について、令和4年度計画終了時における事業の実施状況を記載。

事業の区分	4. 医療従事者等の確保・養成のための事業	
事業名	【NO. 1 2】 医師等確保のための情報発信事業	【総事業費】 12,258 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井、奥越、丹南、嶺南	
事業の実施主体	福井県	
事業の期間	令和3年4月1日 ～ 令和5年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	県内医師数は 1,955 人 (H30.12) で、2年前と比較して微増しているが、令和2年度の県内病院からの医師派遣要望 81 人に対し、県から派遣できた医師は 49 人になっており、県内の医師不足解消に至っていない。	
	初期臨床研修マッチング者数 R元:46人 → R3:60人	
事業の内容 (当初計画)	医学生向け就職説明会への出展や県独自の就職説明会を開催、ふくい若手医師リクルーター設置による医学生や研修医に対する就職関連情報の発信	
アウトプット指標 (当初の目標値)	合同説明会開催・出展回数:2回	
アウトプット指標 (達成値)	合同説明会開催・出展回数:3回	
事業の有効性・効率性	観察できた 臨床研修マッチング者数 H27:50人→R元:46人→R2:58人→R3:63人→R4:46人 ※新型コロナ感染拡大以前 (R元) と同水準のマッチング者数を達成	
	<p>(1) 事業の有効性</p> <p>医学生に対して就職関連情報を発信することにより、県内で勤務する医師を確保することができている。</p> <p>(2) 事業の効率性</p> <p>県内臨床研修7病院の合同説明会の機会を設けることにより、いずれの病院でも臨床研修医を確保することができている。</p>	

	<p>※ コロナの影響により合同説明会の実施が難しい状況が続いている。一方で、開催方法をオンラインに変更するなどにより、合同説明会開催の機会の確保を図った。</p>
その他	<p>(年度別基金活用実績)</p> <p>R3:5,610 千円 R4:6,648 千円</p>

事業の区分	4. 医療従事者等の確保・養成のための事業	
事業名	【事業 No.17(医療分)】 感染症専門医育成事業	【総事業費】 62,032 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井、奥越、丹南、嶺南	
事業の実施主体	福井県、福井大学医学部附属病院	
事業の期間	令和3年4月1日 ～ 令和5年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	感染症専門医の不足は感染症流行期にける院内感染やそれに伴う医療崩壊、感染症患者の診療拒否を招く恐れがあり、今後も続く新型コロナウイルス感染症対策、また、新たな新興・再興感染症に備え、早急に感染症専門医を育成する必要がある。	
	県内の感染症専門医数 R2:8人→R7:14人 R2:8人→R3:10人	
事業の内容(当初計画)	新型コロナウイルス感染症などの新興感染症に迅速に対応するため、医療現場でリーダーシップを発揮できる「感染症専門医」を育成し、県内の医療機関や施設におけるクラスター発生時等にも地域ごとに迅速に対応できる体制を整備する。	
アウトプット指標(当初の目標値)	感染症専門医の育成数 6人 (R3:2人、R4:1人、R5:1人、R6:1人、R7:1人)	
アウトプット指標(達成値)	感染症専門医の育成数 4人 (R3:2人、R4:2人)	
事業の有効性・効率性	観察できた 県内の感染症専門医数 R2:8人→R3:10人→R4:12人	
	<p><b>(1) 事業の有効性</b> 県内医療従事者に対する感染症の講義、研修を開催することで、即戦力となる感染症専門医の育成を図ることができている。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> 感染症を専門とする教授や助教授のサポートにより、効率よく感染症専門医の育成ができている。</p>	
その他	(年度別基金活用実績) R3:31,816千円 R4:30,216千円	

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.1 (介護分)】 社会福祉施設におけるサービス継続支援事業	【総事業費】 484,451 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井、奥越、丹南、嶺南	
事業の実施主体	福井県	
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>新型コロナウイルスの感染等によりサービス提供に必要な職員が不足した場合でも、サービス継続が求められること等から、緊急時のサービス提供に必要な人材を確保し、職場環境の復旧・改善を支援する。</p> <p>アウトカム指標：新型コロナウイルスの感染等があった施設・事業所が引き続きサービスを提供できる体制を確保する。</p>	
事業の内容（当初計画）	新型コロナウイルスの感染等があった施設・事業所が引き続きサービスを提供できるよう、必要な人材の確保や職場環境の復旧・改善を確保する。	
アウトプット指標（当初の目標値）	—	
アウトプット指標（達成値）	事業所への補助件数：168 件	
事業の有効性・効率性	<p>事業所への補助件数：168 件</p> <p><b>(1) 事業の有効性</b> 大規模な感染が発生した事業所への補助により、事業所に係る負担を軽減することができた。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> 感染が発生した事業所へ人員を派遣する等により効率的に感染への対応を行うことができた。</p>	
その他		